

●神鋼神戸発電所2号機が営業運転を開始

電力卸供給事業は、平成14年4月に運転を開始した神鋼神戸発電所1号機に続き、2号機が本年4月1日より営業運転を開始しました。これにより、1号機、2号機を合わせて140万キロワットの電力供給体制が整い、神戸市におけるピーク時の電力需要の約70%を賄うことが可能になります。

また、当社グループにとって、長期に亘り安定的な収益の確保が見込めることから経営基盤の強化に寄与することとなります。今後も電力卸供給事業者として社会的責任を果たしながら、地域社会にも貢献してまいります。



神鋼神戸発電所

●灘浜サイエンススクエアがオープン

神鋼神戸発電所建設に伴う地域交流施設「灘浜ガーデンバーデン（健康温浴施設）」、「灘浜スポーツゾーン」に続いて、「灘浜サイエンススクエア」が、2号機の営業運転開始と同時にオープンしました。

灘浜サイエンススクエアは、「製鉄」「発電」「エネルギー」「環境」をテーマに、科学・技術の面白さや不思議さを遊びながら学ぶ体感型学習施設です。当施設には、製鉄や発電のプロセス、鉄や電気のもつ性質やエネルギーを様々な方法で体感できる約30点の展示物・装置を常設しています。科学に対する好奇心を育み、発見の喜びを感じることがができる施設として、開館以来、多くの来館者をお迎えしています。

■お問合せ先：灘浜サイエンススクエア ☎078-882-8136



灘浜サイエンススクエア



展示室

●神戸空港旅客ターミナルビルコンペで当社案が採用

建設工事が進む神戸空港(平成17年度開港予定)の旅客ターミナルビル建設・維持管理事業コンペで、当社案が採用されました。

空港の玄関口となる旅客ターミナルビルは、延べ床面積約1万4,000平方メートルで、2階が出発ロビー、1階が到着ロビー、3階にレストランなどの商業施設を配置した3階建てです。2階出発ロビーからは、駐機場の飛行機が見渡せるなど、見通しがよく開放的で利用しやすいレイアウトとなっています。また、環境面でも屋上緑化、太陽光発電やコ・ジェネレーション(熱電供給)システムなど様々な配慮がなされています。

ビルの維持管理、清掃、警備業務や商業施設の運営は、当社が統括し当社グループ会社が運営を担当します。



神戸空港完成予想図

●光輝性を付加したアルミ板材の量産を開始

当社は、表面処理後の光輝性を高めたアルミ板材の量産を開始しました。このアルミ板材は、アルミニウムにマグネシウムを添加した高強度アルミニウム合金でプレス加工性に優れ、デザイン性を重視した複雑な形状に加工することができます。さらに、金属結晶組織が均一に制御されており、反射率の高い白金のような透明感のある表面外観が得られます。



デジタルカメラ「IXY DIGITAL L」

本板材は、昨年10月にキヤノン株式会社から発売されたデジタルカメラ「IXY DIGITAL L(イクシ デジタル L)」に採用されました。今後もこのアルミ板材の販売拡大を図っていきます。

●「ゆいレール」(沖縄都市モノレール)に神鋼グループ製品が貢献

昨年8月10日に開業した「ゆいレール」は、那覇空港から市中心部を経て郊外首里城公園に至る12.9キロメートル、15駅を27分で結ぶ沖縄で初めての軌道系交通システムです。

この「ゆいレール」には、軌道用の橋梁・厚板や車両用のアルミ材(当社)、券売機、保守点検車(神鋼電機株式会社)、PC軌道桁用PC鋼線(神鋼鋼線工業株式会社)等、当社グループ製品が数多く採用され、また建設時には、各種建設機械(コベルコ建機株式会社)が活躍しました。

2両連結の「ゆいレール」は、快適な乗り心地で、地上10メートルの車窓からは、活気溢れた美しい那覇の街並みを眺めることができます。



「ゆいレール」(沖縄都市モノレール)